

# 〔ボール式〕取扱説明書 検査孔付可とう管ガス栓 配管用フレキ管接続タイプL型

**お願い**

この製品はツマミ開、閉操作が押し回しになっております。真上より確実に押し回しをされます様お願いします。

## (検査孔キャップの取扱い注意事項)

1. 取付ける前にOリングがプラグ根元に付いていることを確認して下さい。

配管用フレキ管接続タイプI型の説明は裏面にあります

### (特徴)

1. 従来通りの可とう管ガス栓としてご使用できます。
2. 配管の空気抜き及び気密検査ができます。(両側検査)
3. 上流側の気密検査、空気抜き又は、下流側の気密検査ができます。(片側検査)
4. 燃烧圧が測定できます。

### (取付工事上の注意)

ガス栓の取付においては、ガス栓本体側面にガスの流れ方向が矢印(➡)で表示して

ありますので、これに従って取付けて下さい。

### (気密検査及び空気抜きの方法)

- A 上流側の気密検査及びソケット開放で空気抜き(図1)
1. ガス栓のツマミを閉にする。
  2. 上流側ガス栓又は容器バルブを閉にして配管にガスを封じ込める。
  3. 記録計のホースにソケットを装着する。
  4. 検査孔キャップを取り外し、記録計と接続します。  
(ガスを流してソケットだけをプラグに装着して開放すれば空気抜きが行える。)
- B 上流側及び下流側の同時気密検査(図2)
1. ガス栓のツマミを開にする。
  2. 上流側ガス栓又は容器バルブを閉にして配管にガスを封じ込める。
  3. 記録計のホースにソケットを装着する。
  4. 検査孔キャップを取り外し、記録計と接続します。  
(ガスを流せばこの状態で燃烧圧の測定も可能)

図1

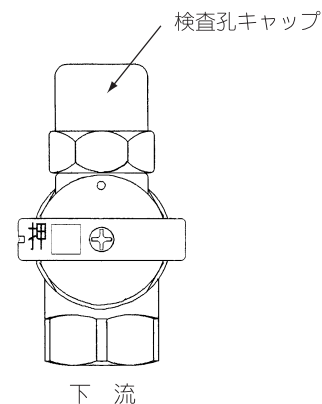
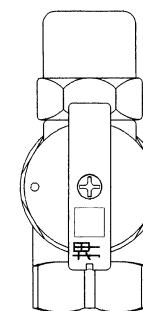


図2

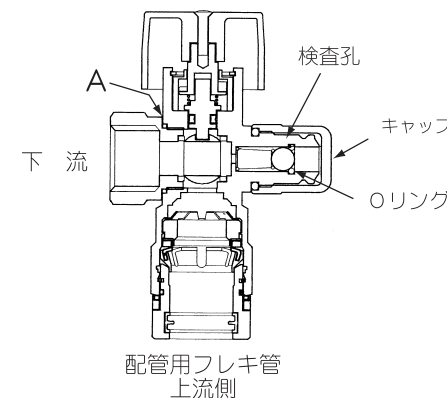


## 警告

- ・ 矢印A部は右回転(右ネジ)にて締め付け接続してあります。
- ・ 左回転に負荷を掛けると緩みガス漏れの原因になります。

この製品はツマミ開、閉操作が押し回しになっております。真上より確実に押し回しをされます様お願いします。

ワンプッシュタイプ配管用フレキ管接続L型



## 燃烧機器直接続工事に携わる方へのお願い

裏面のお願いをよくお読みになった上で施工して下さい。

伊藤鉄工株式会社

愛知県碧南市道場山町1-70  
TEL (0566) 41-4328 FAX 48-0692